

人権だより

宇和島南中等教育学校

No.280(2021.5)

男女平等について、改めて考える

校長 中岡 生文

新型コロナウイルスの感染拡大によって、開催が1年延期された東京オリンピック・パラリンピック大会の開幕7月23日が近づき、各地で聖火リレーが始まりました。ジェンダー平等を謳う大会でしたが、大会組織委員会会長の「女性差別発言」に続き、開閉会式の演出家による「女性タレントへの侮辱問題」があり、ともに辞任に至りました。コロナ禍にありながら「復興五輪」と位置づけられて機運を盛り上げる矢先の報道に、驚きとともに悲しみを抱いたのは私だけではないと思います。



さらに3月には、世界経済フォーラムが男女平等度を評価する「ジェンダーギャップ指数」を公表し、対象となった世界156カ国中で日本は120位でした。これは、政治、経済、教育、健康の4分野で各国の女性の地位を分析した指標です。日本の低水準の原因としては、女性国会議員や女性管理職の少なさ、男女賃金格差、女性の非正規雇用の多さ、伝統的な社会の構造や風習などが挙げられています。首位はアイスランドで、フィンランド、ノルウェーと北欧諸国が続きますが、いずれも女性が指導者を務める国です。日本でも、男性の育児参加を促していく「育MENプロジェクト」や「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されました。制度や法律だけでなく、意識も含めて男性も女性も互いの個性や能力を生かし合い、誰もが暮らしやすく、生きやすい社会となることを目指していきたいものです。

現在、流行が毎日の話題となっている新型コロナウイルスですが、男性よりも女性が雇用などの面で特に大きな打撃を受けています。その一方、テレワークなど働き方の見直しで、男性が家庭内で家事や育児をする時間が増えているという調査結果もあります。学校においても、ジェンダーレスに加えて防寒の観点から制服の選択制を検討する動きもあります。男女平等の課題やジェンダーにもとづく差別の実態が、私たちの身の回りに存在していることを考え直してみることが大切です。

【人権委員の声】

この文章を読んで、男だから女だからと決めつけるのではなく、互いの能力を生かし合いながら生活していこうと改めて思いました。そういうことを世界中で考えていけるように、一人一人が差別について意識していけたらいいなと思います。(2年 山下真綾)

女性が差別されるようなことがあると私も悲しくなります。「女性だから～」「女性は～」というような考えをやめてほしいです。もし、自分が女性で「女性だから～」とか「女性は～」など言われたら嫌だし、悲しくなると思っています。なのでこの考えはすべて、男性でも女性でもその人の能力を認めてあげられる社会にできたらいいなと思いました。(3年 田中深夏)

性別の違いから職や雇用など大きな格差になっていることはニュースなどをみてもとても実感しています。その格差をどう小さくするかを考えるだけでも現状を変える一歩になるのではないかと思います。(3年 山下さくら)

昔の話を知ると、今は大分改善されてきていると感じますが、それでもまだ不平等さは確かに根を張っているのだな、と感じました。それは今回や今までのように女性に対してだけではなく、男性に対しての不平等もあると思います。そういった事を無くすために、普段の日常から見直していくことが大切だと思いました。(3年 平田瑠花)

男女平等を目標にしているものの、社会も身の回りも全然平等とは言えない環境にあるなと感じました。一人一人の意識を変えていくことによって、全体を変えていきたいです。(4年 山本修斗)

日本は女性平等に向けて真剣に取り組まなければならないと感じました。女性、男性としてではなく、人として尊重して接する社会があたりまえになるといいなと感じました。(5年 清家由愛)

日本の男女平等の社会はまだ夢のまた夢だと感じました。日本の伝統を受け継いでいくことはとても良い事だと思いますが、悪く言えば、昔に囚われすぎということだと思います。程よく伝統を残しつつ、新しい日本になってほしいと思いました。(6年 宮瀬こはる)

【人権教育部より】

職員室の入口にある掲示板に「人権教育部コーナー」があるのを知っていますか？職員室を訪ねてきた皆さんが、先生を待ったりするちょっとした時間に読んでもらいたいなという思いから、主に新聞記事を掲示しています。昨年度は、大坂なおみ選手など、スポーツ選手に関する記事に興味を持って読んでくれている人が多かったように思います。不定期ですが、後期生向けに同じ記事の「英語版」も掲載していますので、英語力UPに役立ててみてください。

今後は、LGBTQについての記事を集めてみようと思っています。いろんな記事を読んで、いろんな人の考えに触れることで、自分の考え方や価値観を見直し、人権感覚を磨ききっかけにしてください。